

週寫眞  
報

情 報 局 編 輯

二 月 十 日 第 二 五 八 十 七 號

昭南特別市管  
水泳場  
入口



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



昭南呱呱の聲は

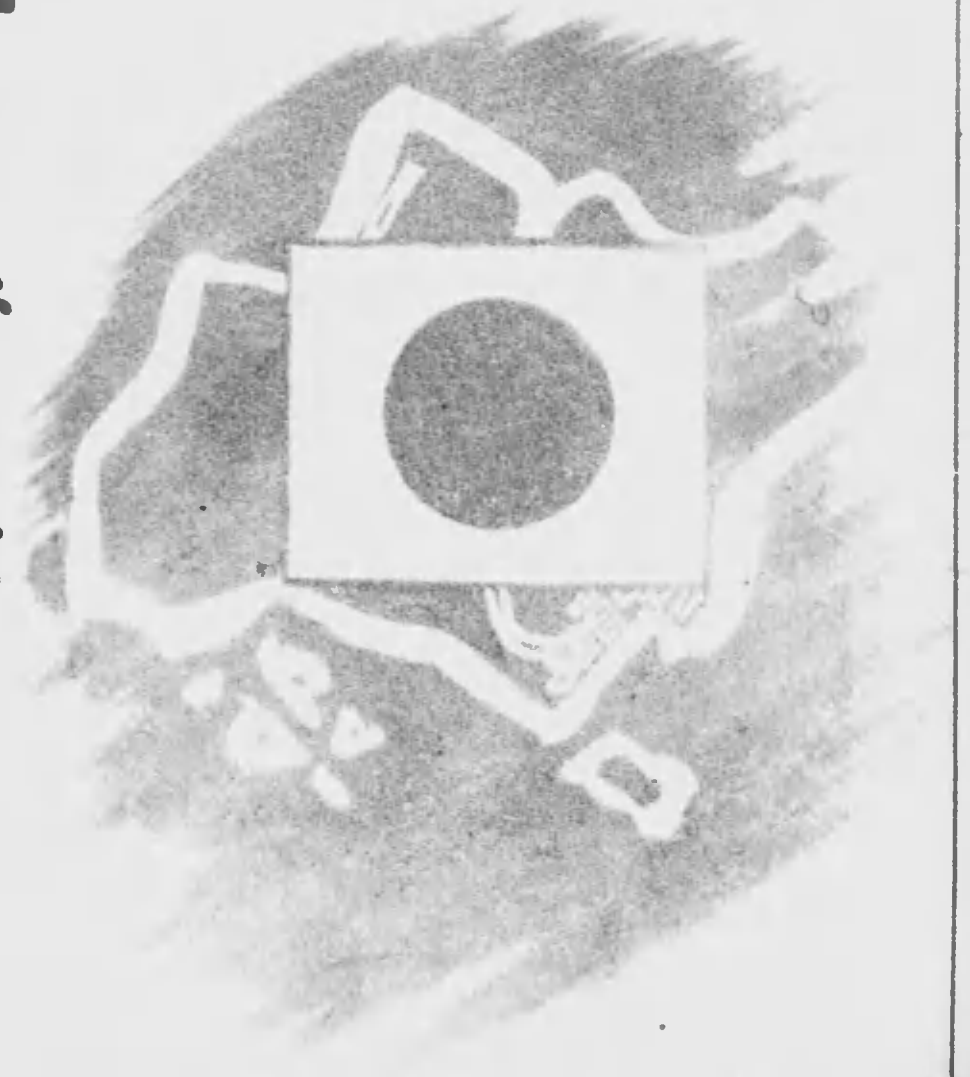
アジアの歡喜であつた

あれから一年

だがアジアが完全に甦へるまでには

まだ苦難にみちた長い年月が待つてゐる

盟主 日本からまづこの苦しみを踏まう



病後のおし東條總理の施政演説

戦季目的達成を目ざす第八十一帝國議會は、決戦議會の名によきはしく、凝り固まつた一徹の戦意を議場に反映して、戦力増強を目標とする豫算案に、法律案に、連日熱意と誠意をもつて審議がつゞけられてゐます  
一月二十八日、本議會再開劈頭東條内閣總理大臣が、病後にもかかはらず、烈々たる氣魄をもつて行はれた施政演説こそは斷乎たる帝國の決意を明らかにし、皇軍の戦力に、國民の總力に期待し、信頼する、必勝の信心にみち溢れたものでした  
東條總理はその演説において、すでに必勝の戰略的優位が軍事的にも經濟的にも確保され、中華人民國の參戰をはじめ、亞歐の盟邦諸國との結盟はいよ／＼固く、南方諸地域については、速くも本年中にビルマ國の建設を認め、フィリピンについては獨立の期の速かならんことを期待すると宣明、大東亞共榮國建設についての帝國の眞意を中外にはつきりと示し、また本議會の最大眼目である戦力の増強については、一徹同胞の盛り上げる戦力を残るところなく發揮すべきことを期待されてゐますが、今や世界の運命を決する大戦争を戦つてゐる我等國民は、作戦の要求に即應して、勝つために一切をあげて戦力の増強に集中し、聖恩の萬分の一に報い奉ることを固く誓はうではありませんか  
廿二十八日再開の衆議院本會議で東條の施政演説を試みる東條總理

「時の立札」は他へ轉載その後に印刷用下さい



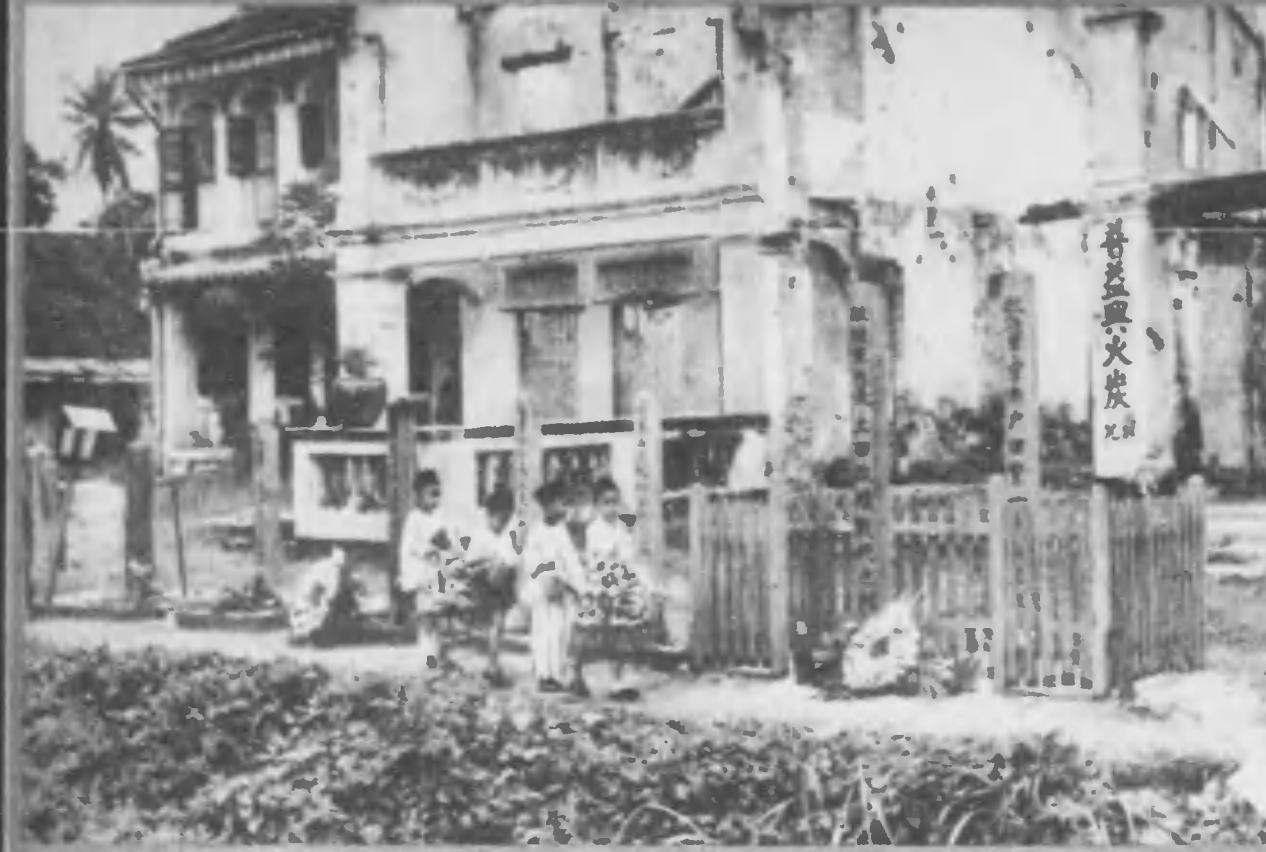
# 昭和南生れ一一年 破壊らか建設計

撮影 陸軍報道班



もう一年になる。當時日本の全國民は嗚りをしつめ心を澄まして一つの報せを待つてゐた。祈るやうな氣持とは當時の日本全國民の傷らざる心持だつたらう。昨年二月十五日シンガポール陥つ、十七日昭南生る、そして戦後第一次脱買。一瞬の感涙をわれは終生忘れることはできない。

あの感涙を新たな決意としてこの一年われは米英軍滅の戦ひを増々と續けてきた。だが、大東亞戦争は、ソロン海城を中心に、新たな、更に重大な段階に立ち至つてゐる。いつまでも精銳の戦果に酔つてゐてはならない。あの未曾有の戦果も、死してもなほ前進を誓つた英軍の忠魂が蘇つてなつたものであることに想ひをいたすべきだ。昭南生れて一年、更に國の總力をあげ、神州不滅の態勢を堅持して米英軍滅に前進しよう。寫眞は思ひ出も新たに、武蔵山(舊ブキヤマ)上の忠靈に祈つる皇軍將兵

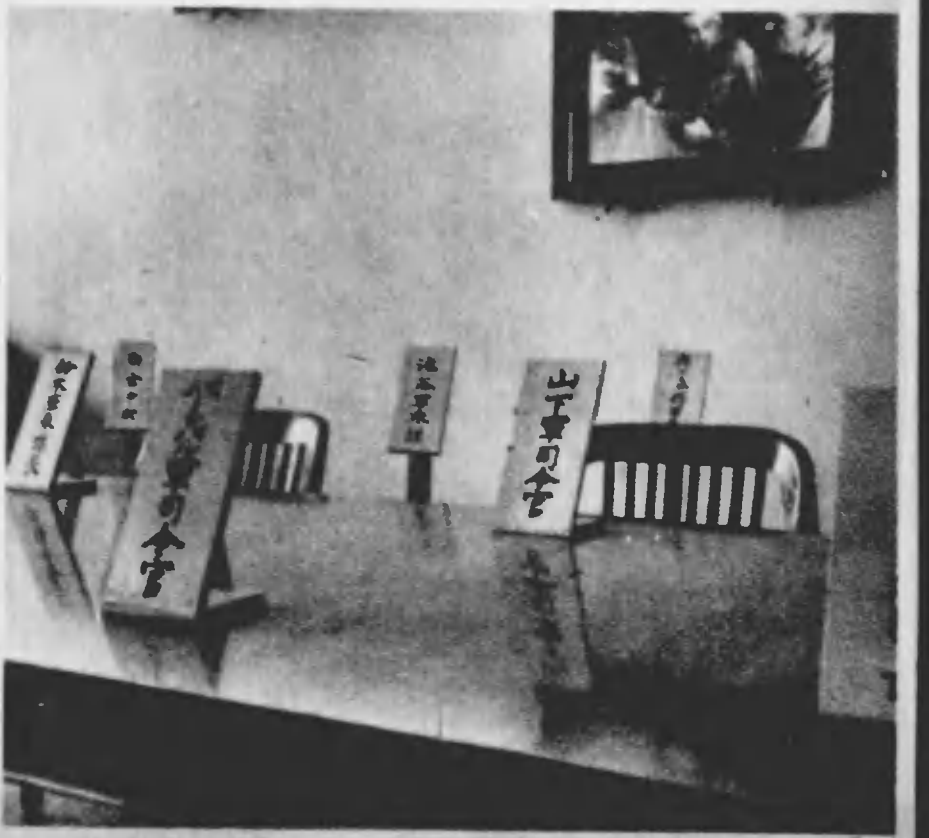


新米軍に喰ひしんがポールの全軍は、あらゆる砲火を集中し、ブキヤマの高地に據置した。砲火と降り注ぐ砲弾。あと一歩、ブキヤマへとれば、シンガポールの市街は目前だぞ。あゝ、二月一日...その戦場に、不滅の武勳を誇る英軍の遺骸。色とりどりの花を供へて歸する現地の子どもたち。子供心に當時の激戦を感得してゐるのであらうか。心から敬虔な祈りを捧げてゐる。英霊よ安かれ!

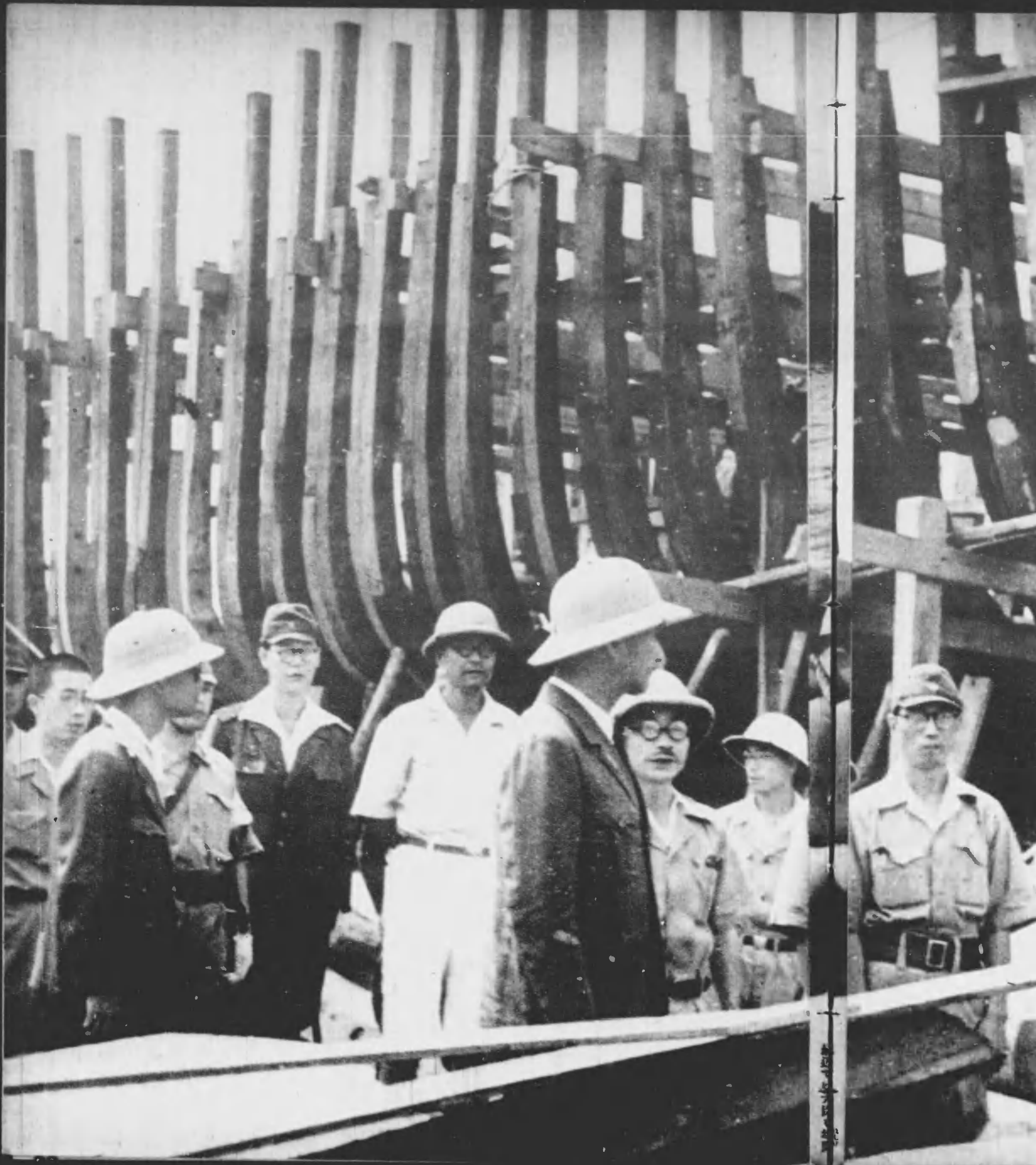
コタバル上陸以來千キロ、マライの全山野を踏かしてきた無敵戦牛は、いまシンガポールの一角に突入する。皇軍入城に安心した住民が街角にちらほら姿を見せてゐる。だが、シンガポールは全く死の街だつた。...新しい繁華にみちたこの街に、あの日、イギリスが東亞から敗退した日の暗さがどこに感ぜられるだらうか。いみじくも昭南の街よ、この街に溢れる力が、前を邁進し建設を象徴してゐる

「真珠! 真珠!」聲を限りに叫ぶ真珠に、思はず顔がゆれてくる。遂に敵の牙城を陥したのだ。喜んでくれ戦友よ、仇はとつたぞ、南の空を轟し、ロンドンに響けとはかりどよもす歓呼...そのエンパイアドックも、わが軍當局の重役を分たぬ努力と現地の協力によつて陥んど敵前線に押し寄せた。昭南を主として南の戦力がどんどん内地に送りこまれる時、エンパイアドックは一番光彩を増す

皇紀二千六百二年二月十五日  
十八時五十五分  
山下軍司令官  
「今御使ヲ數イタテテニ米ソツカ我軍ハ無條件降伏ニシテ應スルンレライチ長知ク不承知カノ邊事ヲケテ聞キタリ」  
「ハニハル軍司令官ハワイルト少佐ノ通譯ヨリ差出サレル降伏ノ條件書ヲ讀ミテナク「明日迄答スル」  
山下軍司令官  
「明日ハ何カ日本軍ハ今夜ニ答シテスレバニハル軍司令官ハ全面的ニ米ソツカ降伏ス」  
時十九時五十分ナリ  
「シララ」上陸ヨリ七十日ナリ







昭南生一 寺内最高指揮官 現地造船所を視察を励



昭南生一 寺内最高指揮官 現地造船所を視察を励

昭南生一 寺内最高指揮官 現地造船所を視察を励

昭南生一 寺内最高指揮官 現地造船所を視察を励

昭南生一 寺内最高指揮官 現地造船所を視察を励

昭南生一 寺内最高指揮官 現地造船所を視察を励







↑ 華僑とマライの少女が仲よく並んで習字のお稽古  
↓ 移動展の一環として熱心に見入る現出人

「アイウエオ、カキクケコ」おぼつかない発音ながら真剣に日本語を勉強する現出人の陣の中に、盟主日本に対する限りない感謝と委せきつた信頼を汲みとることができたらう。この感謝と信頼を、日本と一體になつてあくまで大東亞戦争を戦ひ抜かうとする決意にまで盛り上げねばならない。これも大きな建設だ。

現在、昭南を中心に新聞、雑誌はいふまでもなく、ラジオ、はては街頭に乗り出す放送車、移動展などが新しい文化の建設戦に動員され、目覚ましい活躍を續けてゐる。

昭和二十六年三月三日

# 紀二千六百三年を迎ふ

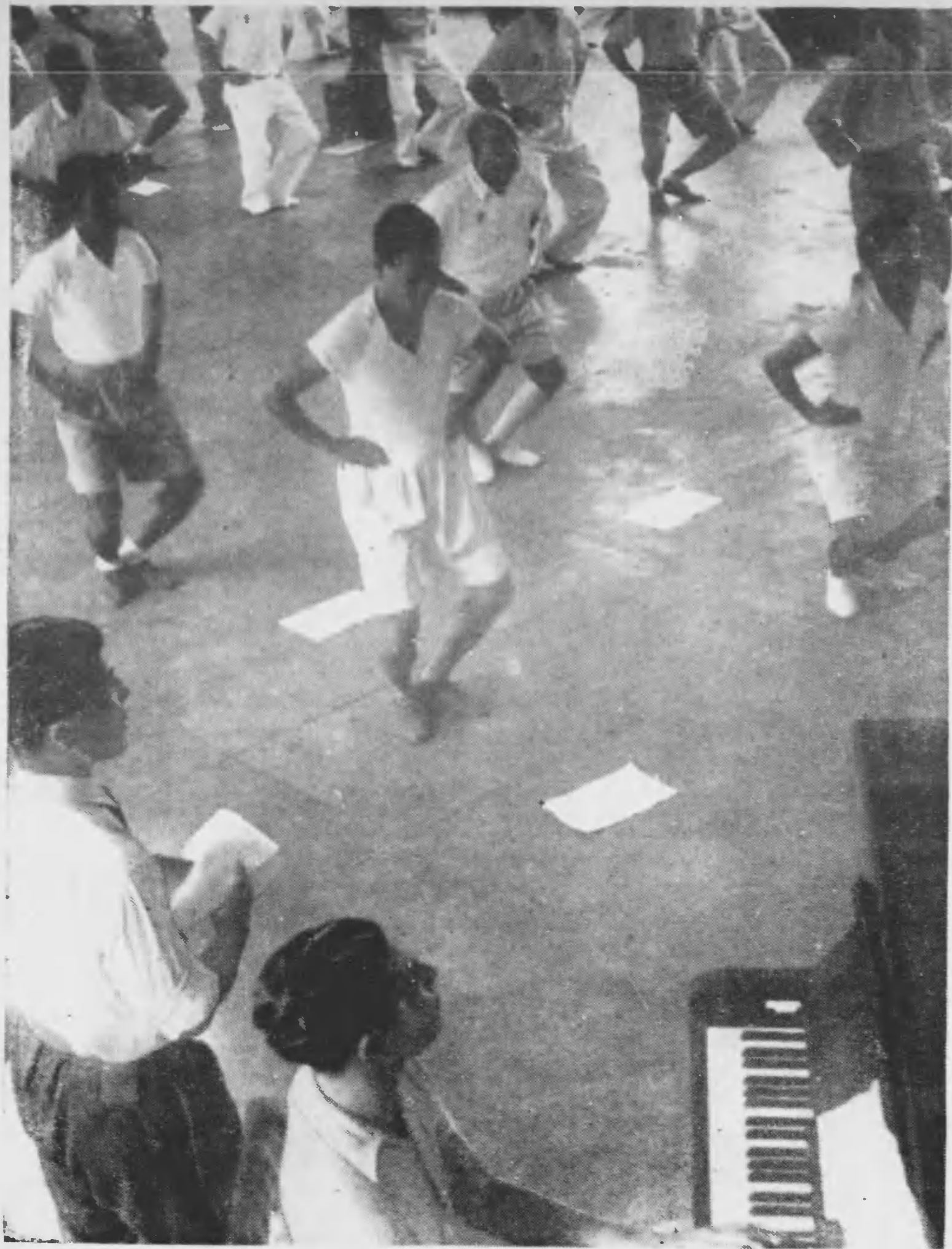
## 昭南新聞

### 竹の園生の彌榮え 極みなし民の歡

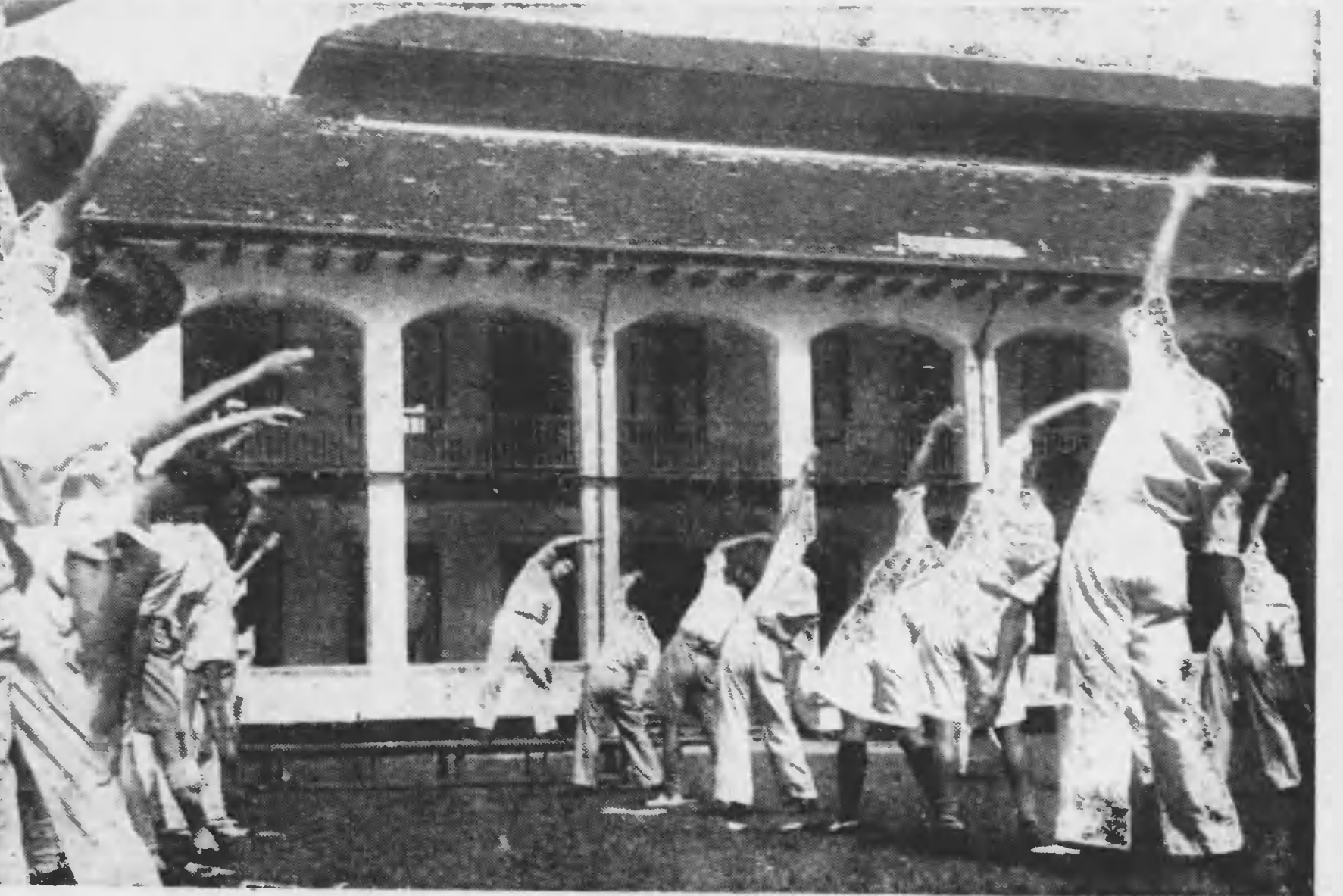
無難にあげられた頼もしい大のぼり  
 大久保憲海軍部長の言葉をうけて、いよ／＼  
 文藝界の快意をかたる現出人新聞記者  
 マライ新聞記者大会







昭南生れて二年 ラジオ体操の本格的な講習會



⇒ 左手は少しな下方ではなく、このへんに持つて (右) ⇒ 手はピンと上に伸ばして  
⇒ 上腕の曲げ方もまだまだ多く、尻ッぱり膝の人もありますが、上達は早い方

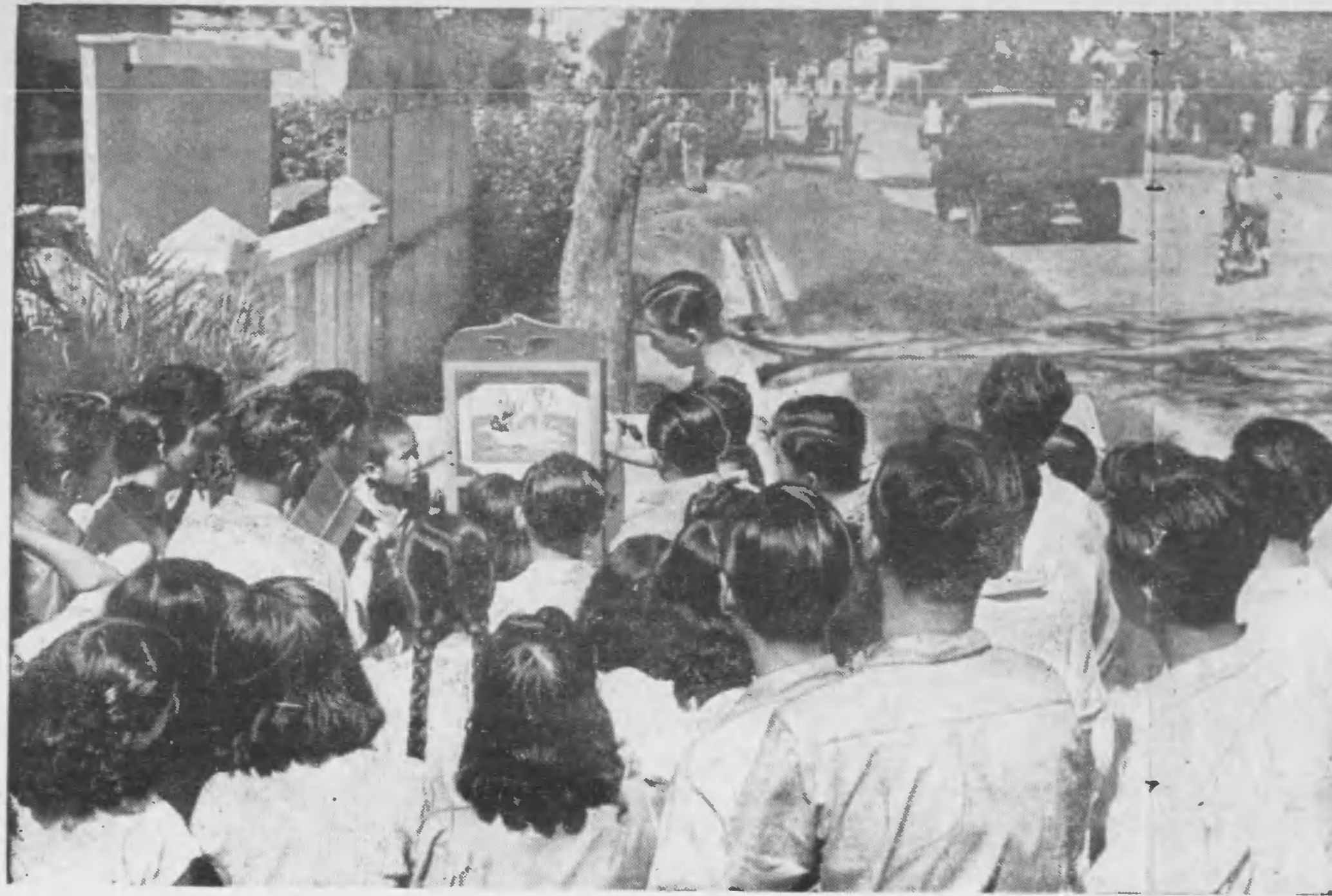
大東亞戦争二年  
目、南方各占領地  
の建設は著々行は  
れ、日本色も漸く  
濃くなつてしまし  
た。現地における  
ラジオ体操の普及  
も日本色の一つで  
す。

こゝ昭南島では  
現地民の健康増進  
をはかるため『ま  
づ最初は國民學校  
から』の標語のも  
とにラジオ体操の  
本格的な講習會を  
催しました。ラジ  
オ体操講習會は占  
領各地の國民學校  
から選抜された現  
地人先生が生徒  
で、指導の先生は  
日本内地でおなじ  
みの松田先生、改  
へる先生が熱心な  
汗だくで豫想外の  
好成績を上げまし  
た。

撮影 陸軍報道班

↑  
ピアノの伴奏で、  
二、三とラジオ操  
体操ももうどうやら  
板についてきた





昭南紙芝居製作所では、紙芝居の製作に大奮闘です。

小さい子供から青年までまで、紙芝居の制作に大奮闘です。



街の人の心紙芝居 昭南生れ一年

昭南島紙芝居製作所

マライ語で紙芝居のことを「ガンバルクルス」といいますが、このガンバルクルスが昭南島の建設陣に一役を買ってゐます。

ガンバルクルスの本部は昭南市オーチャーロードにあり、日本人の指導によつて現地人畫家が多數集まつて紙芝居の製作に當つてゐます。この中には相當年配の老人から十七、八歳までの娘までが混つて働いてゐますが、これらの人たちは昭南建設の文化戦線に指導者を買つて出でゐるだけに、年齢の距たりなどなくみんな懸命に紙芝居のために熱情を傾けてゐます。

かうして出来上つた紙芝居は、昭南の街から街へ、紙芝居のラヂサンによつて演じられてゆきます。日本でも同じですが、昭南の子供たちはラヂサンが街に現はれるや「ガンバルクルス」といふ親しみの言葉をもちつて路地のあちから、こちからも「パニャ〜」と「大勢」集まつてきます。そしてラヂサンを圍んで畫面に見入り、日本語の説明に聞き入つてゐます。

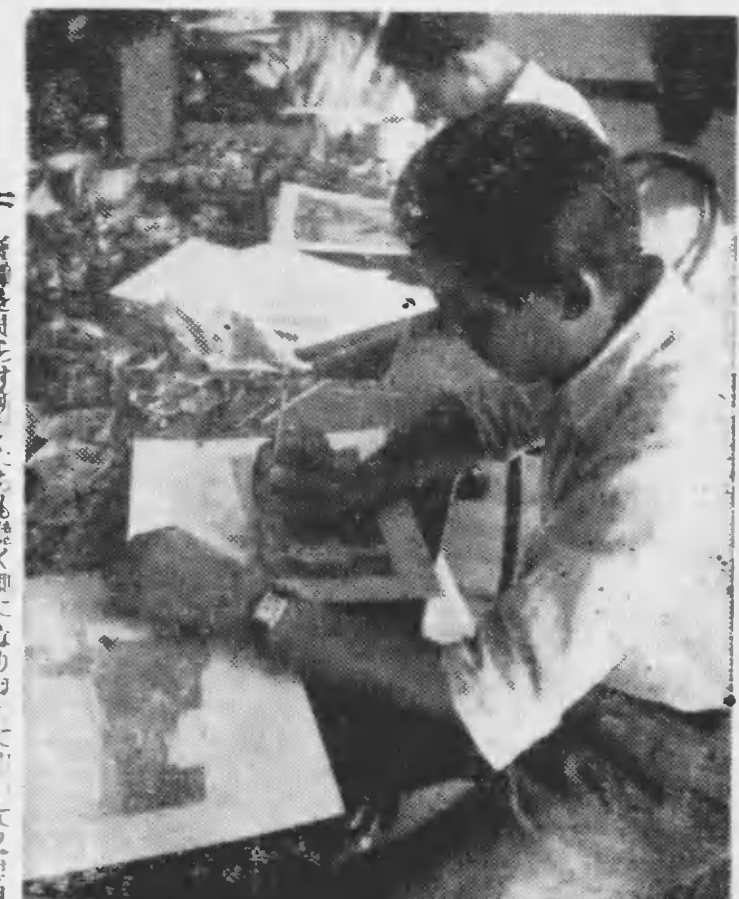
これはラヂサンではなく紙芝居のオネエさんです。なか〜日本語もよく子供たちははしゃいでゐます。

撮影 陸軍報道班



オーチャーロードにある昭南島紙芝居製作所

紙芝居が書かれる



紙芝居の制作に大奮闘です。





(真珠湾軍機) 隊部空航軍海かむふ向に襲強問責

# 戦海沖島

**大東亞戦争日誌**

二月一日 ●帝國海軍航空部隊は一月二十九日ソロモン群島レンネル島東方に有力なる敵艦隊を発見直ちに進發、惡天候を衝きてこれを同島北方海面に捕獲し、全力を挙げ薄暮奇襲を敢行、敵兵力に大打撃を與へたり。敵は我が猛攻を受くるや倉皇として反轉南東方に遁走せんとせしが、翌三十日更に我が海軍航空部隊は晝間強襲を決行し、これに大損害を與へ敵の反撃企圖を破滅せり。

本日までに判明せる戦果及び我が方の損害左の如し

戦果	二隻撃沈
艦船	三隻撃沈
戦艦	一隻中破
巡洋艦	一隻中破
戦艦	三隻中破
戦艦	三隻中破
戦艦	三隻中破
戦艦	三隻中破

(註) 本海戦をレンネル島沖海戦と呼稱す

このようにしてはソロモン及び東ニューギニア方面における我が陸海協同の果敢な行動に對して反撃を試みようとして、けなげにも大艦隊を出撃してきた。愚なるかた敵艦隊はソロモン周辺の水域を己が「内庭」と認識したものか、艦隊上空を警戒すべき直衛飛行隊も件はずにゐたため、先づ第一日に於いて早くも長距離波洋の性能を誇る我が海軍航空隊の餌食となつたのである。

かく、われはこれのレンネル島沖海戦によつて南太平洋方面の戦局が一段落を告げたやうに早合

點してはならない。同方面の彼我の戦闘はなほますます熾烈化してゐるのである。外電によれば過日米海軍長官ノックスは太平洋艦隊司令長官ニミッツ、西南太平洋艦隊長官ヘルゼーを伴つて南太平洋戦線を視察したといふ。敵ながら油断のない關心事である。

われはこれの際、この度の大戦果をもたらした索敵機の生還を期さない海軍魂を心とし、敵艦橋へ自爆を敢へてした指揮官機の忠烈を想ひ、一段と勝ち抜く決意と覚悟を新たにしなければならぬ。



るす發出を地基礎勇は驚海に敵索

# ルネンレ

敵が、今年こそは對日總反攻の年だと囁物入りの宣傳とともに、また事實南太平洋方面に兵力を増強してゐた矢先、その出鼻を挫いたレンネル島沖海戦は、さきのマレー沖海戦と同様、航空部隊のみをもつて擧げた戦果の華々しきにおいて、我が海軍航空部隊の底知れぬ實力を世界に遺憾なく示した。

かくして全國民最大の關心が漸く遙か赤道を越えたソロモン群島及びニューギニア方面の南太平洋に集まつてきた時、大本營の數次の發表に現はれたやうに、我が陸海軍のこの方面における活躍が果然活潑となつてきた。

**島群ソモロン**

再認識させた點において胸のすくものであつた。

昨秋十月下旬から十一月末にかけて南太平洋海戦、第三次ソロモン海戦、ルンガ沖夜戦等、數次に亘つて行はれたソロモン海域の大戦によつて、わが方は南太平洋方面の敵海軍主力を撃滅したが、その後ガダルカナル島を中心としたソロモン群島周辺及びニューギニア方面の陸戦が敵と對峙状態になつたの上等しく、海戦においても幾多の波瀾を醸しつゝ、滿を持してゐた。





今年も豊かな稔りを 二月十七日 祈年祭

農村の人々の歌謡が報いられて  
 昨年は見事な豊かな稔りを祝ふこ  
 とができましたが、さて今年はどう  
 うでせう

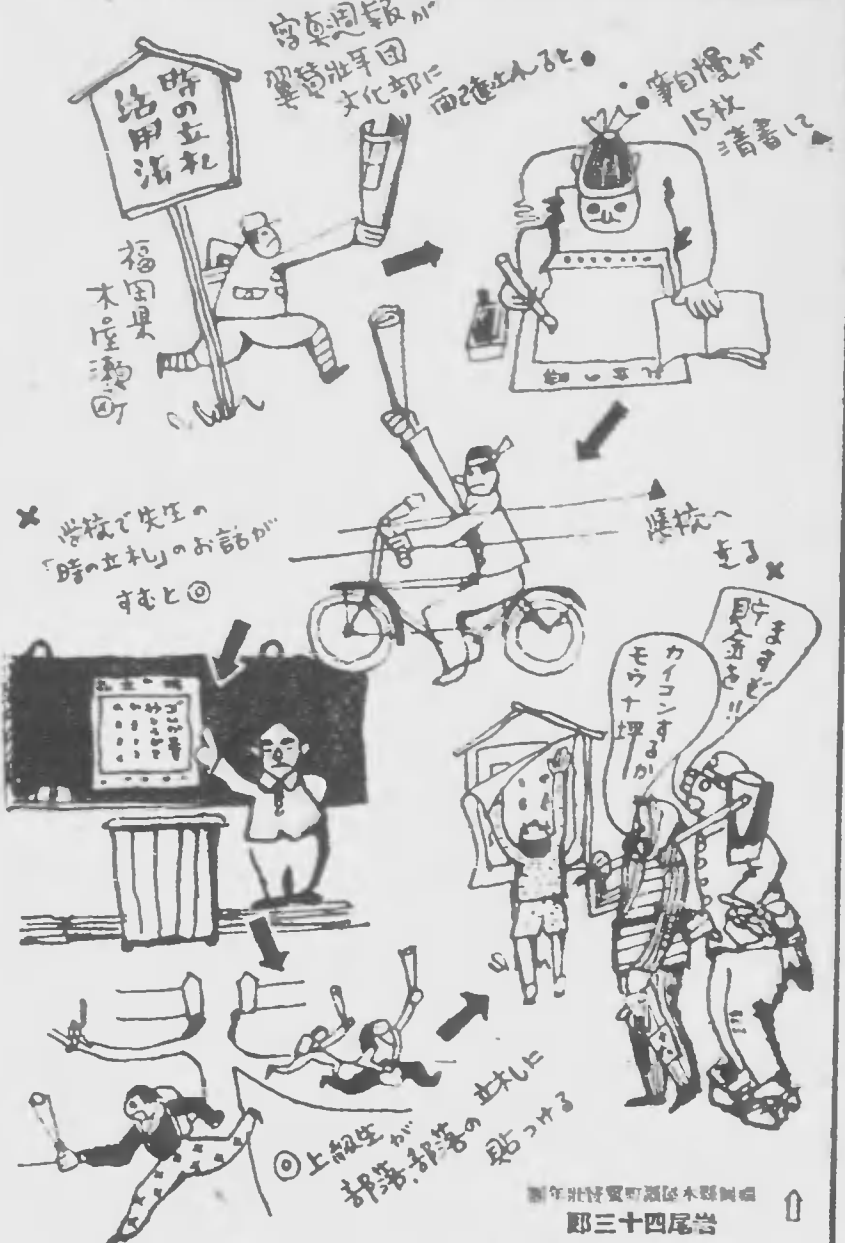
戦時下の食糧を一手にひきうけ  
 る農村の人々は、すでに凍てた大  
 地に鎌を打ちこみ、霜結ぶ葉の畑  
 を踏んで、来るべき収穫の時、一  
 粒でも多くの米を茎を、豆を供出  
 しようとする努力を続け、ひた  
 すらに今年もまた豊年なれと祈り  
 を捧げておられることと思ひます

二月十七日は農村の人々の心を  
 こめた祈りが捧げられる「祈年祭」  
 が行われます。このお祭は収穫の  
 神恩を感謝し奉る新嘗祭に對して  
 この年の穀物が豊かに實るやうに  
 神様のお守りをお頼みすると同時  
 に、先祖から賜はつた種子を十分  
 に育て上げて稔りを豊かにし、戦  
 時下の食糧が少しの不安もないや  
 うにしようとする祈りにあつてお祭  
 なのです。神前にそなへて祈りを  
 こめた五穀の種子の一粒々々は汗  
 と努力に培はれて、必ず強い芽を  
 ふき豊かな實を結ぶこととせう。

その時こそ神恩卓恵に報じ奉り、  
 かぎり無い国力を充實できるとき  
 なのです

↑ 強くのびよと稔りながらヨイコード  
 たちも奮闘必事仕(埼玉戸ヶ崎村)

例實の用活『札立の時』



『時の立札』立つところ

私は『寫眞週報』をとるやうになつたのは昨年九月からであるが、『寫眞週報』が掲げられることに先づ讀むのは『時の立札』である。この言葉の持つ深遠な意味に常に打たれ、常に動まされる。私はこれを自分一個の感懐にとどめることを切望しないと思ひ、學校にある掲示板の一面に書くことにした。

この掲示板は校庭にあつて道端に面して立てられ、行きすりの人が時に足を止めて見入つてゐる姿を見付けては獨り微笑んだ。やがて、この程度では満足しきれなくなつた。毎日のやうに來るポスター等の古いのを捨て置いて、これに新しい『時の立札』を見出し書き添へて町の要所々々に貼らせることにした。この頃では當番兒童が『今

時は何といふのですか』と尋ねに來るやうになつた。町人の中にはこの『立札』に感激して、當番等に出席すると『寫眞週報』に掲載された『時の立札』千人の兵士を慈く英雄たらしめる率を身を持って示す殉國の大號を掲げるにこそ

時後に下つた一機、機銃の連射を結ぶ

それを見つて、君なのだ、あんなのだ

寒風を切つて、きりりと穿つた巨丸から連射する銃の聲は必勝の心構へに一段のしんばりを掛け、開戦の兒童たるの自尊を固め、決戦の意氣を燃やした。その折々の『時の立札』を讀み

それには僕なのだ、君なのだ、あんなのだ

寒風を切つて、きりりと穿つた巨丸から連射する銃の聲は必勝の心構へに一段のしんばりを掛け、開戦の兒童たるの自尊を固め、決戦の意氣を燃やした。その折々の『時の立札』を讀み

それには僕なのだ、君なのだ、あんなのだ

寒風を切つて、きりりと穿つた巨丸から連射する銃の聲は必勝の心構へに一段のしんばりを掛け、開戦の兒童たるの自尊を固め、決戦の意氣を燃やした。その折々の『時の立札』を讀み



私の學校では廊下の果敢に  
 利用してあます

阿部由二

前掲掲載の『寫眞週報』の『時の立札』の中には米英の樂曲以外のものも、片音が米英樂曲のため記載されています(例へばコロムビアレコード中の「ロマンティック・アイ・アイ」、「ロマンティック・アイ・アイ」)。この二つのウキヤマカ(ワキヤマカ)は、これらは勿論一枚のレコードとして發音すべきですが、樂曲そのものがいけないといふわけではありません

それにしても私が感激に堪へなかつたのは、去年神尾の『寫眞週報』十二月二十三日附のものであつた。『時の立札』の頃は周囲の件がとられて中は白紙だらけであつた。私は『時の立札』の神尾の面に文字なき文字を讀み、聲なき聲を聴いた。そして讀んで次ぎの如く揮書した

昭和十七年十二月十二日

畏くも 至登

天祖の大御前に  
 大東亞戰爭一周年の豐果を報告し給ひ

併せて聖威の必勝を祈念し給ふ  
 應祥まり、源頼朝を傳ひて止らず  
 粉骨碎身 誓つて 報恩を安んじ奉らん

嗚呼この感懐、いつになつたら忘れ  
 る時がくるであらうか

『時の立札』利用のこと

田中 均

寫眞週報の『時の立札』を広く一般に讀んでいただくにはどうしたらよいか考へた結果、本物の立札を作ることに致しました。そしてその『立札』をより効果的にするため左の方法を用ひました

一、立札の記事は裏板とし、白墨にて毎週自由に記載し得ること

二、立札の柄は一定場所に固定させ、頭部のみ記載の時便利なるやうに取はし自在に挿し込み式とする

三、普通の立札と混同されざるやうに、度立札のノドにあたる部分に『時の立札』と印する

一、設立場所は町會にて白墨の消えざるやうな壁面に面して自宅右寄りの軒下、戸袋の前とする

右の方法により約一ヶ年餘継続してをりますが、拙地は温泉町のことでカンペン浴衣の客が街道を流して歩き、場所柄不似合な立札に好奇の眼をそそぎ、立ち止まつて讀んでゐる様はわれながら全く愉快になります

今後かうした立札を町の隨所に立て、啓蒙宣傳に資したいと考へてをります





# せ卸で死にた荷を来で死決

## —士戦役荷む組つ取と物貨—



貨物船は一年のうち百八十日は荷役のために碇泊するが、いまかりにこの碇泊日数を一割だけ短縮すると、実に数十万トンの船舶が増加したと同じ計算がでてくる。従つて船舶を大量に生産する一方、現に有る船舶の運航率を早めて、新しい船舶を増強の方法だといへるわけで、政府が昨年十二月一日から三月三十一日までを港荷役増強期間と定め、荷役能率五割増強に努めてゐるものだから他ならない。港荷役とは、いふまでもなく船から貨物の降揚げ、荷捌き、船への荷物積込みなどをいふが、これはすべて荷役に従ふ仲仕たちの職一本、腕一本で行はれるものであり、ことに戦前に比べて著しく荷役の人手が減つてゐる現在、その能率を五割増強するためには言語に絶した労苦が要するのだ。

だが関係仲仕たちは、この生産力増強の第一線に立つて主役としてすでに逞しく立ち上つた。糧を、石炭を、米を運ぶ大切な船舶が、港貨のために港に釘付けになるやうなことがあつてはならないと、ひたすらに企するその努力は、いまや一切の悪

条件を粉砕して、全船平均三割八分の引上げ成績を収め、さらに増強されようとしてゐる。一般の國民からは、これまでと大きく異なる力持のやうなこの職出た、かれらはいま日本運命を背負つて奮つてゐるのだ。

最近では大船も増強

午前六時一隅も強つてく風を舞いて沖合五百メートルに碇泊する船へ急ぐ荷役職士たち



船は黒ダイヤの山だ。一刻も早く荷揚げをへなければならぬ。降りてくる空網に飛びついて「イ〜」と叫ぶ声



に立ち、兵隊士も解らぬ運搬した港荷役職士の職能も大きく左右するこの港荷役職士の重要性にわれわれは改めて目を注ぐとともに、東海も東風もものは、海運界の第一線に燃えて日夜を分かたず身を砕く荷役職士たちの努力に對しては、



五割のやうなウインチの巻取り。第一杯に石炭をつめたんだ網は、一ッと大きく張を抜きながら吊上げられる



# 僕等は少年騎兵隊

岐阜縣端湊國民學校

撮影 加藤太一

楓葉と、馬上豊かな美少年、本營に唄をつくりな勇ましい姿ではありませんか。これは、岐阜縣端湊町端湊國民學校の高等科のお友達です。  
昭和十五年四月、同校では青少年に簡単な馬事訓練を行ひ、馬事知識の普及をはかる目的から、高等科の児童で組織される少年騎進會が生まれました。その後、元氣な

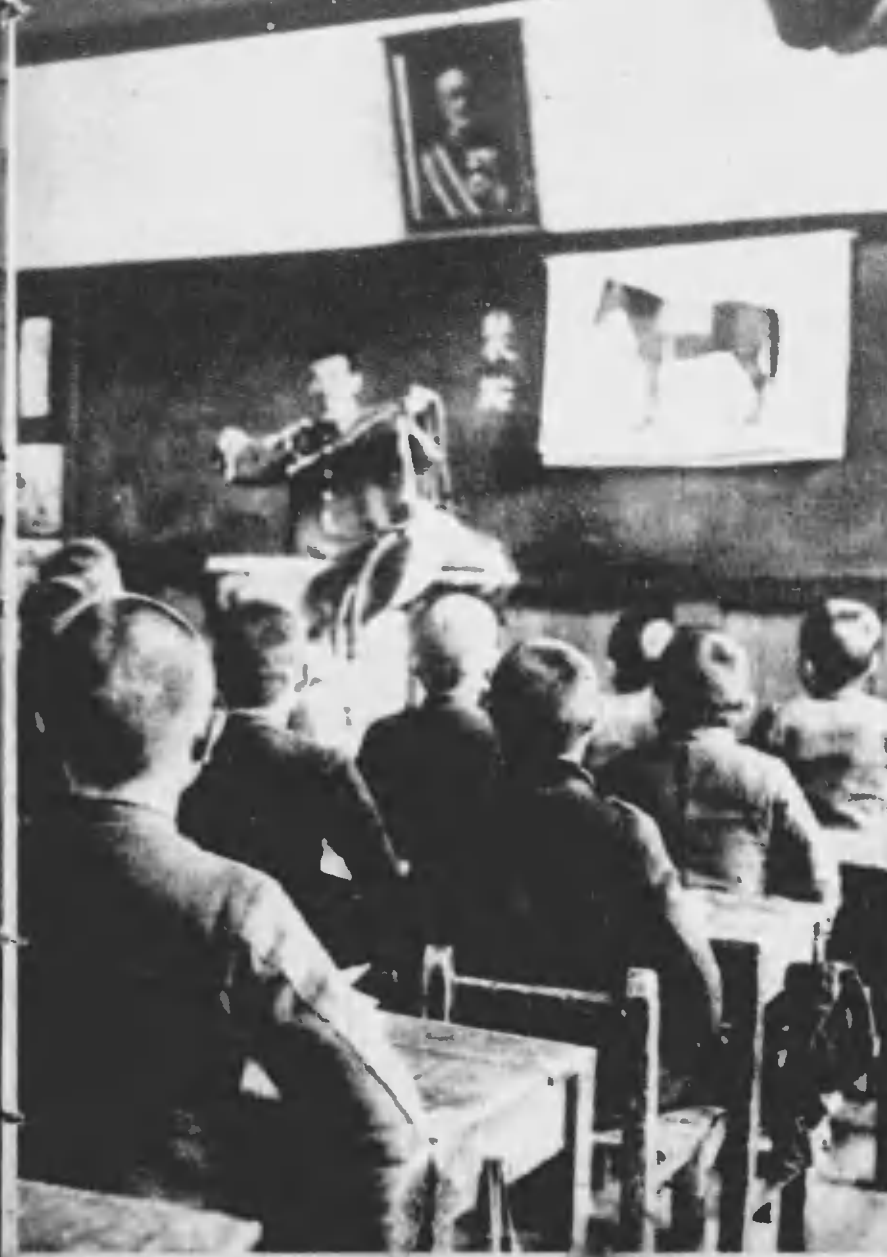


勢揃ひした會員はまづ  
厳重な訓練の行方を行ふ

まづ馬に馴れよ、馬に馴れぬた、馬費を素手で片付ける位なんでもない馬に關する特別な授業が設けられ、一通りの準備知識が授けられる

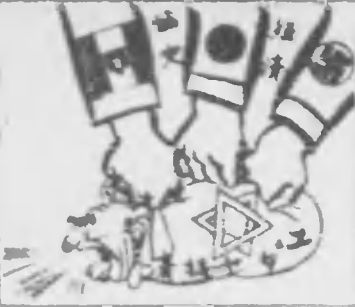
會員たちは、軍用保護馬鍛練會の指導員をしてゐる岩島の小父さんや諸先生方の親切な指導をうけ、月二回、日曜日を選んで一生懸命訓練を積んできました。昭和十七年の七月にはその努力が日本馬事會に認められて助成金をうけることになり、一層馬事奉公に強い決意を固めてきました。

普通の行進から障礙物通過の特別訓練まで行はれる  
訓練が済むと東窓で愛馬の手入、まづ先生がお手本を





大東亞戦争漫日誌  
石川 介



日伊伊國協定協定



日伊伊國協定協定



日伊伊國協定協定



日伊伊國協定協定



日伊伊國協定協定



日伊伊國協定協定



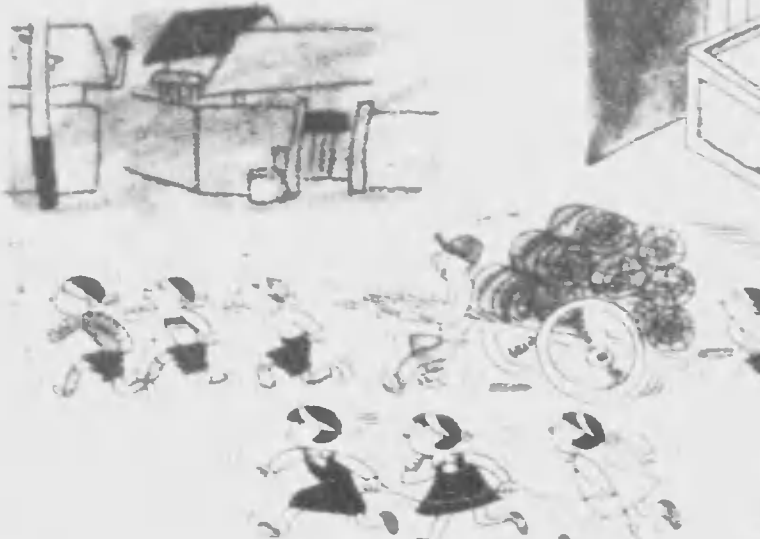
日伊伊國協定協定



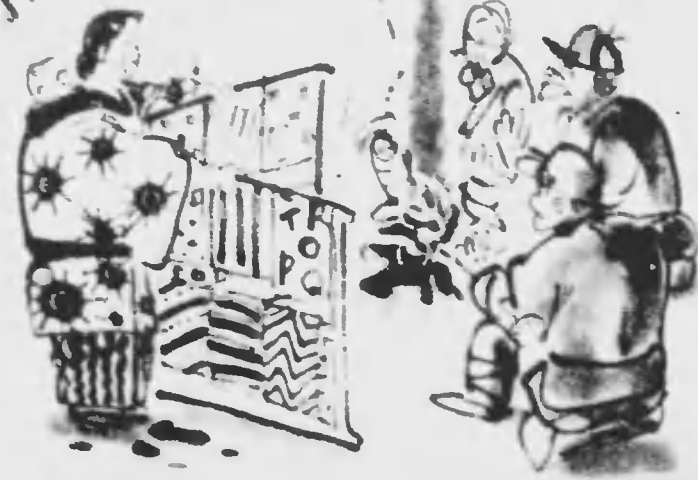
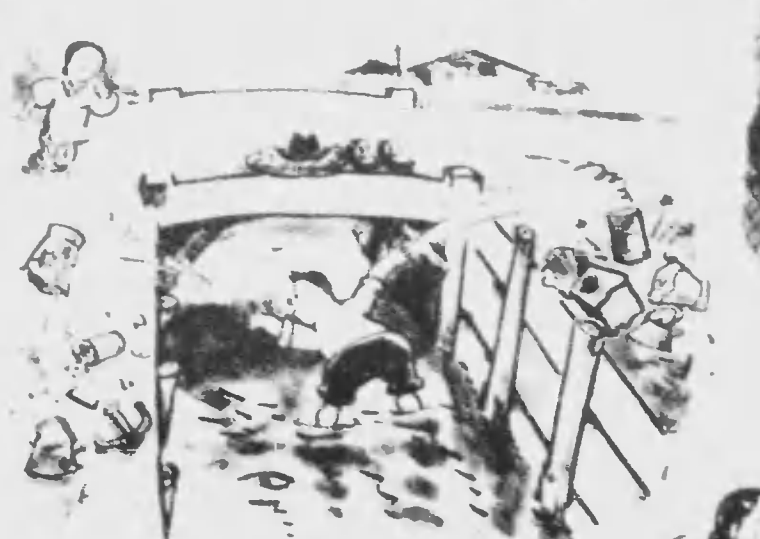
風邪熱利用 秋野 賢  
風邪をいともたかたか  
一室内で利用した。この熱を



輸送力増強 秋玲二  
もうせぬ運送の不足  
を補う。手押し車、人力車

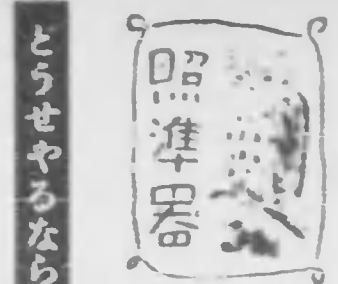


茶屋記念貯蓄 市太郎  
茶屋をやるが記念に  
この茶屋の貯蓄に入  
入した。手押し車、人力車



燃料節約 森熊 猛  
もうせぬ燃料の不足  
を補う。手押し車、人力車

金庫回収 杉 桓夫  
ドブへお金を落しました。とうせ  
冷たい川へ入ったからにや



米英氷撃砲 小泉 恭郎  
フジの砲撃だけでは  
物足りない。昭大和  
大の砲撃は竹刀で  
一歩、マイクで  
組合せ。水を振り  
はじめました。これを  
みたおじいさん、真  
酒の顔の小僧に「ソ  
レにも一突きやん  
なさい」



受信室

保津川に警防團訓練  
京都 明田耕太郎  
京都府下南桑田郡では、このほ  
ど郡下十八箇町村の警防團員二千  
名を砲台城址に召集、訓練  
を行いました  
訓練は團員の階級別にはじま  
り、服装、機銃點検の後、清流で  
名高い保津川で勇躍ひたし、砲台十  
数箇の壮烈な放水演習に時局下必  
勝の氣魄を示しました



★渡 紙  
五千キロ離れはかとも遠  
いものか、昭南は一月でも二  
月でも相戦うの曇りで、  
このほど、青少年の練成を目  
指して市営の水泳場が公開さ  
れ、昭南市青年男女の人氣を  
擧げてゐる。強く、速くは  
眞若人の合言葉だ。南の若  
人たちも、毎日メプルスに  
詰めかけ、健民の聲を叫ばせ  
てゐる。一年の間に伸びた日  
本の力と國土と共に喜ばう  
撮影 陸軍報道班

復習室

- 本報からあなたは何を學んだ  
てせうか？
- 1 南方方面陸軍最高指揮官はど  
なたですか？ (6頁)
  - 2 わが山下司令官と英敗將バー  
ンホルム、フォード會戦はど  
うなつてゐるでせう？  
そのまゝ、自動車工場に、會  
見記念室として、わが軍の  
將校集會所は、(4頁)
  - 3 昭南建設の文化線は、一投資  
つてゐる「ガムバグムス」  
とは、(11頁)
  - 4 昨年二月十七日はどんなこ  
とのあつた日でせう？  
全占領、シヤンガール島の  
陥落、ジャワ島完全占領、  
昭南島の誕生、(4頁)
  - 5 港務局に働く人夫たちは黒  
ダイヤの運搬に大進です。ま  
た、黒ダイヤとは、(17頁)
  - 6 皇軍將兵は想ひ出も新たに武  
蔵山上の忠靈塔に詣つてゐ  
ます。この武蔵山とは何處にあ  
るのでせう？ スマトラ、  
フィリピン、昭南島、  
ルネオ、(4頁)
  - 7 戦争目的の達成を目指す歴  
史的な今議會は何回目かの帝  
國會でせうか？ (9頁)
  - 8 二月十七日はわれ／＼にとつ  
ては大仕事の日は行はれる日  
です。なんのお祭でせう？ (17頁)
  - 9 一隻の貨物船は南島の橋下ろ  
しのため一年間どのくらゐ港  
に碇泊するでせうか？ (百  
日！) 百八十日！ 二百五十  
日！ (15頁)
  - 10 今議會の施政演説で東條内閣  
總理大臣は「帝國は速くとも  
本年中には、現在行政に管  
轄されてゐる區域を以て〇〇  
〇〇の建設を賜めようとして  
ゐる」と述べられました (3頁)
- 海軍艦隊の復習室は海  
軍省水産課(第五二四二號)



寫眞週報 昭和十八年二月十二日 第二五五十六號

二百三十億  
もう一息だ  
がんばらう



二百三十億貯蓄完遂郵便貯金強調運動

寫眞週報  
(葉轉載)

昭和十八年二月  
十日印刷發行

情報局  
東京市豊町一  
水田町一ノ一  
印刷部

内閣印刷局  
東京市豊町豊天手町

所 達 申	價 定
全國各地官報 販賣所 書店・肆賣店 新聞販賣店 寫眞材料店	一部十錢 (送料一錢) ▲外國郵送は依 ▲其の地域は送料 ▲共一部十九錢 ▲預約配達御希望 の方は一部十錢 (送料一錢)の割 合を以て前金を 添へ御申込み下 さい ▲特大號の場合は 其の都度御拂込 金より差額を申 受けます

前線慰問に本誌を  
お読みになつたら本  
誌を前線慰問に送り  
ませう。送料は内地  
と同様で帯封あるひ  
は開封にして第三種  
と明記すれば一部  
一錢です

内閣印刷局印刷發行

(列強報連)-A4換算定額はさき大の書本)